

栃木県 U15 カテゴリーDC 活動（県・地区）実施における運営細則

（一社）栃木県バスケットボール協会 ユース育成部会 U15 カテゴリー

この指針は、JBA（公益財団法人日本バスケットボール協会）から発表された、「JBA（公益財団法人日本バスケットボール協会）バスケットボール活動再開に向けたガイドライン」（2020.6）、及び一般社団法人栃木県バスケットボール協会（以下 本協会）から出された「（一社）栃木県バスケットボール協会活動再開に向けた指針（第2版）」（2020.8）を参考に、今後行われる U15 カテゴリーにおける DC 活動時（トライアウト及び練習会）の、コロナウイルス感染拡大防止のための留意点をまとめたものである。

県・地区ともに DC 活動時は下記のことを守りながら活動を実施すること。ただし、この指針をすべて実施したことにより、感染がゼロになるということではなく、感染拡大を防止するための指針であることを理解していただきたい。もっとも大切なことは、選手、指導者、関係者すべての人の生命・健康の安全が最優先だということ。そのために全ての人が責任と自覚をもって行動していただくことである。

【活動前】（選手・指導者・運営スタッフ・観戦保護者）

- (1) 以下の事項に該当する場合は参加を見合わせる。
 - ・体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 活動日には健康チェックシートに検温を行い、当日指導者に提出する。（健康チェックシートは県協会 HP 内、U15 のページに掲載してあります）
- (3) 移動の際、自家用車の場合できるだけ乗り合いを避ける。電車での移動が伴う場合には、マスクの着用及び乗車前、降車後に手洗い及びアルコール消毒を行う。
- (4) 日頃から、睡眠、食事を良くとり、健康に留意すること。
- (5) 選手・保護者の安全を第一に考え、参加については自由意志とする。

【活動時】（選手・指導者・運営スタッフ・保護者）

- (1) 活動時は以下の物品を指導者及び運営スタッフが準備する。
 - ・非接触型検温器
 - ・アルコールスプレー
 - ・ペーパータオル
 - ・マスク
 - ・ゴミ袋
 - ・使い捨てビニール手袋

- (2) 活動前には指導者及び運営スタッフで、複数の人が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）を消毒する。
- (3) 会場内に入れるのは指導者・運営スタッフ・選手・保護者のみとする。
- (4) 指導者はマスクまたはフェイスシールドを着用する。ソーシャル・ディスタンス（2 m以上）が確保できるときには外してもよい。
- (5) 指導者は笛を使用するときにはソーシャル・ディスタンスを確保する。
- (6) 活動中、マスク着用を希望する選手については着用を許可する。活動中には医療用や産業用のマスクではなく、家庭用のマスクを着用する。マスクを着用している場合は、熱放散が妨げられることから、熱中症のリスクを考慮して、運動強度を落とす。
- (7) 選手・指導者がマスクを着用していない場合は、周囲との距離を十分保ち、不必要な発声や会話を控える。
- (8) 練習前後の握手、練習中のハイタッチ等の接触は避ける。
- (9) 更衣室の使用は避ける。使用する場合にはマスクの着用及び密にならないようにする。状況によっては人数制限をする。
- (10) 選手間での備品（例：ビブス、タオル）の共有はしない。選手は各自のウォーターボトル、あるいはペットボトルを使用し共有しない。ジャグタンクやクーラー等を共有しない。
- (11) 活動中には常時換気をする。
- (12) 集合や円陣を組む際には、ソーシャル・ディスタンスを確保するか、マスクを着用する。
- (13) トイレ使用後は手洗いを 30 秒以上実施する。その後各自のタオルで水気をよく取る。
- (14) 観戦する保護者は密をさけ、ソーシャル・ディスタンスを取った状態で観戦をする。マスクは必ず着用する。

【活動終了後】（指導者・運営スタッフ）

- (1) 複数の人が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）を消毒する。
- (2) 会場等で発生したゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用する。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄する。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。
- (3) 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、参加者から取得した健康チェックシートを、保存期間（少なくとも 3 ヶ月）を明記した上で保存しておくようにする。
- (4) 活動終了後「（一社）栃木県バスケットボール協会 DC 活動におけるコロナウイルス感染拡大防止チェックリスト」をチェックし、育成マネージャー増山に提出する。

【活動終了後】（選手・保護者）

- (1) 活動終了後は、すぐに解散する。帰宅後すぐにシャワーを浴び、運動着を洗濯する事を推奨する。
- (2) DC 活動終了後に、PCR 検査等を実施した場合には、すみやかに本協会に報告する。

【宿泊を伴う活動】（選手・指導者・運営スタッフ）

- (1) 本協会は主催者と連携し、感染対策が講じられているか確認をする。
- (2) チームとして参加するかどうかの判断は本協会で行う。
- (3) 選手の参加については自由意志とする。
- (4) 移動の際にどうしてもバスを利用しなければならない場合には、乗車前の消毒、降車後の消毒、席の間隔を空ける、マスクの着用、換気を徹底する。
- (5) 宿泊部屋については可能な限り 1 人部屋とする。
- (6) 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。また、同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。
- (7) 宿泊場所において 3 密状態でのミーティングを行わない。
- (8) 参加する選手・指導者は健康チェックシート（同意書含む）を提出する。参加を希望しない選手は事前にスタッフに申し出る。

（一社）栃木県バスケットボール協会

ユース育成部会 U15 カテゴリーチーフマネージャ

増山 敬大（黒磯北中学校）

連絡先：u15dc.tba@gmail.com